

イワカガミ

Shortia soldanelloides

イワウメ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 掲載なし



種
子
植
物

主として火山山頂帯の岩場に生える草丈10cmほどの常緑多年草。地下茎は木化し、横にはう。葉は根元から出て長い柄をもち、葉身は丸く、縁に低いぎざぎざがあり、表面につやがある。5月から6月にかけて淡紅色の花をつける。背丈の低い植物のため、生育状態が植生の遷移による環境の変化に影響されやすい。また、登山者の踏みつけや人による採取もあって、生育地の減少が懸念される。

(写真：阿孫久見 文：生野喜和人)

県内分布 九重火山群，由布・鶴見火山群，祖母・傾山地，北川上流域

分布域 北海道（西部），本州，四国，九州（佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島）

国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，瀬戸内海，祖母傾]